

～ 夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳の育成 ～ 幼小中一貫教育を推進！

未来へつながる通信 vol.132

発行：令和 5 年 5 月 19 日 袋井市教育委員会

子供が安心して過ごせる居場所づくり

～不登校について考える会議を開催～



子供の理解と居場所づくり

本市が取り組んでいる幼小中一貫教育の目的の一つに、「幼小・小中の接続をスムーズにすることによって、子供たちの環境の変化に対する不安を解消し、不登校児童生徒を減少させる」ことがあります。

5月9日にはスクールカウンセラーや子供を支援する関係機関代表が参加する「不登校支援チーム会議」が、15日には上記会議の参加者に小中学校代表を加えた「不登校児等対策連絡協議会」が相次いで開催され、不登校の未然防止・早期対応・復帰支援に関わる対応方法について話し合いが行われました。「子供が元気に、友達と仲良く生活する」ために、また「子どもが安心して過ごせる居場所があり、目標をもって生活する」ためにはどうすればよいのか、具体的実践を基に考えました。全ての教員が子供一人一人を理解し、組織的に家庭や関係機関と連携しながら対応していくことの大切さを確認しました。

【不登校児等対策連絡協議会で議論する教職員と専門家】

今年度の不登校対策事業

- ◆未然防止策
 - ・hyperQ-Uの活用
 - ・小中の連携
 - ◆早期対応策
 - ・ケース会議の運営
 - ・SC、SSWとの連携
 - ◆復帰支援策
 - ・支援員との連携
 - ・ひまわりとの連携
- ・ネット依存対策
・家庭への支援
・ICTの活用
・家庭支援員



【今年度の対策の重点（上）と不登校支援チーム会議の様子（下）】

「未来へつながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。 袋井市教育委員会 教育企画課 未来の教育推進室 86-3221

